

KAI

Speech Contest 2018

国立オリンピック記念青少年総合センター



第33回

カイ日本語スクール

2018.05.30



目次

ページ	テーマ	氏名	国	レベル	受賞
4	「界」～ 違う考え方を発見しましょう	紀 華茵	台湾	初級1	🏆 初級賞
4-5	「懐」～ 懐かしい人、私の兄	ニナ デシロ	イタリア	準中級	
5	「海」～ タイのきれいなうみ	チョムプーブット スパッター	タイ	初級1	
6	「介」～ 自己紹介をしましょう	ビオレタ マイヤー	チリ	初級2	
6-7	「邂」～ 運命の出会い	ラズ カーメル エスター	イスラエル	初級1	
7	「怪」～ ディアー、怪しい豚	陳 品彬	台湾	準中級	
8	「回」～ 何回でも	トーヴェ ジーボン	スウェーデン	上級1	
9	「海」～ 海岸での開眼	フィロメナ ムッル	イタリア	中級1	
10	「壊」～ あたりまえを「アタリマエ」にしない	トマス ベーガー	オーストリア	中級2	
11	「界」～ 限界を知ること	ミン ジヨン	韓国	上級2	🥈 第2位
12-13	「会」～ 出会いと冒険	ミシャ ソリテルマン	アメリカ	中級1	🥇 第1位
13-14	「回」～ 回転寿司からの教え	アンナ バホス	ブラジル	準上級	🏆 審査員特別賞
14-15	「開」～ 心を開いて、世界を開こう	インナ ハジエバ	ロシア	中級1	🏆 審査員特別賞
15	「会」～ 素敵な出会いたち	ポントス スヴェンソン	スウェーデン	初級2	
16	「回」～ 回り道も悪くない	ジェシカ リンダー	スウェーデン	準上級	
17	「偕」～ ハリネズミのジレンマ	ミカエル カルフネン	スウェーデン	中級2	🥉 第3位
18	「階」～ 人生の段階	マティアス アコスタ	アルゼンチン	準中級	
18-19	「改」～ 目標までに近道はない	アルビン ベンヤミンソン	スウェーデン	上級1	
19	「改」～ 改善	ワーナー タラードス	アメリカ	初級2	
20	「魁」～ さきがけにならしましょう	エリサ メロ	ブラジル	初級2	🏆 審査員特別賞
21	パフォーマンス				
22	表彰式				
23	懇親会				



司会
アンドレア ゴバット [常勤スタッフ]
吉田 幸世 [常勤講師]



写真
曾 凱欣 [香港・準中級]
ヨハンネス カーラカイネン [フィンランド・上級1]
内藤 タ子 [常勤講師]

スピーカーの写真は、写真掲載可
の学生のみ掲載しています。

審査員の皆さま



小野 朋江様
株式会社ASIA Link
代表取締役社長



高木 純夫様
公益財団法人
日本漢字能力検定協会
執行役員BJT普及部部長



筒井 一郎様
株式会社ヌールエ
代表取締役
動物環境会議主催



山本 弘子様
カイ日本語スクール
代表



大山 シアノ様
カイ日本語スクール
教務主任



「界」

違う考え方を発見しましょう

1A-1 紀 華茵

みなさん、おはようございます。私は1A-1の紀華茵です。台湾から来ました。どうぞよろしくおねがいします。

この世界は広いです。たくさんの国と文化とことばがあります。私はホンコン、韓国、タイ、オーストラリア、シンガポール、アルゼンチンへ行きました。でも、私はまだ、たくさんの国に行きませんから、ほかの国へも行きたいです。

私はほかの国へ行って、いろいろな生活習慣をしりました。視野が広がって、考えかたも変わりました。

例えば、私の国はみんなスピードといい大学、いい会社を追い求めています。学校ではテストが一番大切です。しかし、たくさんの人は、自分のしょうらいを考えません。どんなせいかつと仕事をしたいか、あまり考えません。仕事を始めたあと、こうかいします。

それは社会の雰囲気のせいです。いつも競争します。もちろん、勉強は大切です。でも、教育はいい成績だけじゃありません。

私は旅行を始めたあと、ほかの国の人とたくさん話しました。ちがう意見を勉強して、自分のわるいところをなおしました。毎日、ちがう人から勉強しました。私は、はやく仕事をするのが大切だと思いました。でも、オーストラリア人の同僚は言いました。「Enjoy the process! No worries!」プロセスを楽しんでください。心配しないで! 私はびっくりしました。でも、安心しました。それからプロセスを大切にします。

日本はきれいな国だと思います。日本人はマナーがいい

です。いろいろな文化があります。日本にいるとき、もっと日本の文化と生活を発見したいです。

カイ日本語スクールはいろいろな国の人がいます。私はほかの学生とたくさん話したいです。私はもっと日本語を勉強します。そして旅行をたくさんします。

みなさん、ぜひ、旅行と勉強をいっしょにしましょう。ありがとうございました。 ●



「懐」

懐かしい人、私の兄

3M ニナ デシロ

小学校の時によく兄は車で私たちの父の家までつれて行ってくれました。車に乗りながら音楽を聞いて音楽についての話をよくしました。兄は色々教えてくれました。ビートルズの歌とか、ベナックダニエルの本とか、化学とか、の説明をしてくれました。時々彼はおもしろい物語を話してくれました。宿題で困った時には兄はいつも親切に手伝ってくれました。時々寝る時にいっしょに「ほしのおうじさま」や「ドラゴンボール」など好きな本を読みました。

私にとって兄は両親のような人でした。なぜかと言うと、兄はもう大人だったからです。私と兄は異母兄弟で、彼は私より十七さい年上です。彼は私のせわをする必要はありませんでした。その時彼は自分の家族のせわでいそがしかったからです。だから、私はなぜ私のことをこんなに大切にしてくれるのかよく分かりませんでした。

私の兄はベビーシッターのように私がねつの時薬を飲ませて、スポーツクラブまでつれて行ってくれて、色々せわをしてくれました。私は「あなたはすばらしい兄さんだよ」と言うと、彼は「そんなことないよ。あなたの誕生日も覚えてないよ。」と答えました。でも、じつは私の誕生日にいつもプレゼントをくれました。

今、私は兄といっしょにあそんだ時を思い出すと懐かしく



「海」

タイのきれいなうみ

1A-2 チョムプーブット スパッター

はじめまして、私はベルです。タイjinです。バンコクのひがしにあるイーサンからきました。どうぞよろしくおねがいします。

わたしのくににうみがあります。タイのうみはとてもきれいです。だから、ここにいるみなさんにタイのうみをしょうかいしたいとおもいます。タイでいちばんきれいなうみはシミランプーケットです。わたしはきょねん、ともだちとプーケットへいきました。わたしのまちからプーケットまで、ひこうきで1じかんはんくらいです。がいこくjinがたくさんいました。

シミランしまは、タイのみなみにあつてゆうめいです。がいこくからおおぜいのかんこうきゃくがきています。けしきがいいし、きれいなうみがあるし、それにりょうりもおいしいです。トム・ヤムクンや、パッタイなどはちょっとからいですが、とてもおいしいです。ホテルもたくさんならんで、やすくてサービ

なります。彼といっしょに生活できて、兄にかんしゃしています。私が知っていることは、全部彼が教えてくれたのです。兄のおかげで私はやっと大人になりました。

兄は、今イタリアに住んでいます。もし兄が私が必要な時は、いつでも私は兄を手伝うつもりです。今、メールを時々しています。今も兄は私の大切で懐かしい人です。皆さん、皆さんには懐かしい人がいますか? ●





「介」

自己紹介をしましょう

2A-3 ビオレタ マイヤー

私がえらんだ漢字は「介」です。

私は日本語の読み方と書き方が一番むずかしいと思います。作文の宿題は本当にたいへんです。毎週、作文をがんばっても、悪いけっかをもらいます。スピーチコンテストでは、「カイ」と読む漢字をえらばなくてははいけません。3かくで書ける一番かんたんそうに見える漢字をえらびました。その漢字は二つのパーツがあります。そのパーツは「人」の漢字とカタカナの「ハ」です。この漢字で書かれた一つの言葉をえらびました。そのことばは「紹介」です。

自己紹介をしましょう。

私の名前はビオレタです。南アメリカのチリから日本にきました。35才です。子どもの時、サンチアゴに住んでいました。昔は歯医者になりましたかったですが、今は会計士になりました。9年間仕事をしました。私のしゅみは日本語を話すことです。今、日本語を勉強して、東京に住んでいます。カイスクルのあとで、世界旅行をするつもりです。

13才の時、ベジタリアンになりました。ベジタリアンは肉が食べられません。そして、きょねん、ビーガンになりました。ベジタリアンの時は牛乳が飲めて、卵が食べられましたが、今は、食べられなくなりました。日本で、外食をすることはむずかしくなりました。だけど、東京にはビーガンレストランがあります。ビーガンレストランのべんりなアプリがあります。アプリでレストランが見つけれられます。新宿のちかくにRippleがあります。

Rippleはビーガンバーガーが食べられるカフェです。時々、授業の前にRippleへ食べに行きます。Rippleで、最近好きな食べ物はブリトーボウルです。ビーガンアイスクリームも大好きです。一人で行く時、昼ごはんを食べながら、日本語を勉強しています。

この前、ビーガンのパンやケーキを作るのをてつだいました。作る人はフランスのアレクサンドラさんです。アレクサンドラさんは親切で面白い人です。彼女の作ったおかしは本当においしいです。5月19日にマーケットがありました。マーケットの前に、たくさんおかしを作りました。イベントでは、ビーガンチーズケーキがお客様に一ばんにんきでした。お客様は、ビーガンじゃありませんでした。

ビーガン料理はおいしいですから、みなさん、いっしょに食べましょう!いただきます! ●



「邂」

運命の出会い

1A-3 ラズ カーメル エスター

『邂』 であい、それは何ですか。タイミング?それとも、ばしょ?たぶんすべてがうんめいでした。

もし、アメリカの映画スター、ナタリーポートマンがニューヨークのレストランでピザを食べませんでしたら、モデルのじむしょはみつけませんでした。もし、有名な飲みもの、レッドブルのCEOが、タイでトクトックのドライバーの飲みものを飲みませんでしたら、かれはレッドブルをはつめいしませんでした。

わたしも、もしとくべつな人にあいませんでしたら、日本へ

来ませんでした。きょ年のある日、わたしはひまでしたから、Netflixをあげました。日本のドラマの「5時から9時まで」を見て、日本ごにきょうみをもちました。日本ごをべんきょうしたかったです。だから、ランゲージエクスチェンジへ行って、メルボルンのとしょかんでかれに会いました。このであいがわたしのじんせいをかえました。この人にあう前は、わたしのせかいはせまかったですが、わたしはかれからたくさんまなびました。

今年の3月22日、はじめて日本へ来ました。今、彼といっしょにいますが、かぞくはオーストラリアにいます。だから、時々さびしくてかなしいです。でも、大丈夫、東京のせいかつはとてもたのしいです。わたしはオーストラリアで大学へ行きませんでした。でも、今、東京で学校へ行きます。学校へ行くのはうれしくておもしろいです。学校で、せかい中からきましたあたらしいともだちにあいました。そして、おもしろいばしょをみています。毎日あたらしいけいけんをしています。

でも、もし時間がたくさんありましたら、もし日本のドラマ「5時から9時まで」をみませんでしたら、この人にあいませんでした。わたしは今どこにいますか。わかりません

だから、『邂』 であい、それは何ですか。タイミング?それともばしょ?たぶんすべてがうんめいでした。 ●

「怪」

ディアー、怪しい豚

3A-1 陳 品彰

子供の時、両親は長い間、中国に出張に行ったので、私の側にいられませんでした。だから、中国へ行く前に、母は「パパとママは早めに帰るね。」と言って、私にもも色の豚の抱き枕をくれました。その豚は私の子供の間、ずっと私のそばにいて、両親を思う寂しい夜と一緒に過ごしたり、「パパとママはいつ帰りますか。」、という私の質問を聞いてくれました。豚は母の代わりに私の小さい頃をケアしてくれました。だから、豚は私の宝物になりました。

中学校の時、母は私が成長する時が見られないと思ったので、私のところに帰って来ました。そして、ずっと私の側にいたので豚も古くなりました。きれいなピンクだったのに、汚くなっているし、鼻も切れてしまいました。ある日、意外な事件がありました。エアコンを掃除する人が、掃除の布と一緒に持ち去った日、豚がいなくなっていました。私はとても心配しました。その時、私が家でいくらどぎまぎ探しても、豚



は見つかりませんでした。そして、私は一晩中泣きながらずっと探したけど、もう見つからないと思いました。でも、最後に母が掃除の布の中で豚を見つけました。母は「見つけたよ!もう大丈夫!」と言いました。その時に無くした豚を再び手に入れたので、私は母と涙をぼろぼろ流しました。

日本へ来る前に、私は母と一緒に、豚の古い布を取り替えて、新しい布で縫いました。縫う事は難しかったので、豚の顔に歪みができて、とても変になりました。豚の顔を見たら、私と母は笑い転げました。でも、私は前より大切にしています。「怪」豚になりましたが、母の愛と祝福と一緒に縫った豚だからです。「怪」豚を持って日本へ来たから、これから豚も小さい頃のようにケアしてくれるので、私は色々な未知のことに挑戦して行きます。 ●





「回」

何回でも

7M-2 トーヴェ ジーボン

「はじめまして、私はトーヴェです。スウェーデン人です。どうぞよろしくお願いします!」1レベルからカイで勉強していた皆さん、覚えているでしょう?1レベルの初めの日、最初の授業で、先生はこのフレーズを、挨拶さえできなかった私達に教えようとしていました。失敗が怖かった私は、あの日それを聞いて、なおさら怖がるようになってしまいました。「もし一回でも失敗したら、恥ずかしくてたまらなくなるだろう」と心もとなく考えていました。

あの時はまだわかりませんでしたが、もちろん、そういうわけではなかったんです。間違えても、何回でもやるだけやってみればいいからです。そこで、今日は私がそのことに気づいた経験について話したいと思います。

現在、1レベルの時の私のように、社会の期待に応えるために失敗などあり得ないと感じさせられて、プレッシャーに耐えられない十代や二十代の人々がじわじわと増えて来ています。現実の生産性を最高に重要視している世界では、自分が達成したことで人生の価値が決まっていくような気が、時おりします。したがって、ただのミスに過ぎないことでも「私なんか、人間として無価値だ」と誤って信じている人も珍しくありません。結果として、うつ病や不安の悩みを抱えてしま

うにとどまらず、無駄な理由で夢を諦めることになる人々も増えています。

三年前の私は、そのグループに含まれた一人でした。日本語の授業が最初の印象より簡単で楽しくて、私は毎日頑張っていたものの、何か間違いをしてしまうたびに、ほんの少し持つことができた自信がどんどん崩れてしまいました。それで、一年くらい経った時には、その厳しい自己評価でとても疲れていました。皆さん、英語の「一つのドアが閉まってしまったら、別のドアが開く」と言う諺を知っていますか?私はその時、日本語の勉強のドアが目の前で固く閉まった感じがしました。そこで、開いている新しいドアを探すために急にスウェーデンへ帰ることにしました。

留学の失敗から目をそらせるように、帰ったらすぐに実家の屋根裏にある引き出しの中に教科書やノートを隠して置きました。東京を離れたことが全然悲しくないフリをしながら、前の仕事に戻っていきました。ですが、以前はその仕事が大好きでしたが、今回はどうしても一味足りない気がしました。それでもそのまま何ヶ月か続けたあげく、大変不幸な気分になってしまいました。

ですが、この時大きな出来事がありました。これについて友達に相談した時、「じゃ、日本へ戻ろうか?」と気軽に言われたのです。「へっ?!私の大変な問題はそんなに簡単な解決方法があるのか?」と驚いて考えました。やっと諦めたので日本に戻ることはあり得ないと思っていましたが、友達が気軽に言ったことをきっかけに、とうとう戻ることにしました。今回は私は自分に対してもっと優しく生きていこうと思います。いつも生産的なことばかり考えて進むことはやめ、今の私なりに頑張れば十分だと思います。今、そういうことがわかるようになりました。私はそれで十分です。

結論として、あの諺は、間違っていると気がつきました。私にとっては、「ドアが閉まってしまったら、何回でも同じドアをもう一度あけてもいいですよ。」のほうがいいです。これがいいと思います。結局のところ、閉まっていれば、開けることができるということがドアの本当の姿なのではないでしょうか。

●



「海」

海岸での開眼

4M フィロメナ ムツル

皆さんおはようございます。フィロメナと申します。イタリアから参りました。

私が選んだ漢字は海岸の海です。私がこの漢字を選んだ一つ目の理由は私はサルデーニャにあるトルトリと言う小さい町で生まれたからです。トルトリは海に面しています。海に見える地域で生まれて育てられた私は子供の頃からずっと海に関心を抱いていました。朝起きたら、私の部屋から海の音を聞くことができます。

海と言えば夏休みです。でも、私にとって海の一番いい季節は秋と冬です。高校に通っていた時、大変な問題乗り越えるために海の音と波を聞きに行きました。秋と冬には人が少ないから問題について静かに考えられます。

私は高校の時とても太っていました。それに、私の服は流行遅れでした。いつもメタルのバンドのシャツを着ていました。いじわるな先輩は毎日みんなの前でばかにしました。時々、彼らは体育の授業中に私を地面に押し倒しました。私は自信がなかったから、他の友達を作るのが難しかったです。寂しかった時、何も考えないように海に行きました。海を見ている時、私は自分の人生が悪くないことを理解していました。すばらしい父も愛する友達も家族もいるからです。

父は小さい船を持っていたから、夏休みに一緒に誰も知らないビーチを探検しました。父は私に海の中にいろいろな動物も植物も生きているから、尊敬することを教えてくれました。皆は海をイメージする時、たいてい平和な気持ちが浮かんできると 생각합니다。でも、いつも私は海の力を怖がっています。特に嵐が起ると、海は大きな波が現れるようになります。子供の頃、父と母とオッリと言うビーチに行きました。その日、海が荒れていたから私は母に泳がせてもらえませんでした。

突然、ビーチで海から女の人の叫び声が聞こえました。私の父は勇気があるから、すぐに女の人を助けるために海に飛び込みました。父は泳ぐことが結構上手ですが、水が深くて、海の流れによって体が引っ張られているかのように沈んでいきました。ビーチにいる人は一緒に手をつないで皆で引っ張って、女の人と父を助けてくれました。私も母も怖かったです。そのことがあってから、私は海を怖がるようになりました。

私が海の漢字を選んだ二つ目の理由は、海が命や社会を表しているからです。

皆さん、考えてみましょう……。文学の世界では、多くの場



合、海は人生を表現するためのたとえ話として使用されています。例えば、一番人気のあるギリシャ作家のオメロは世界でオデュッセイアを書いた作家として有名です。オデュッセイアはウリッセの旅行について語ります。私にとって、この船での旅行は人間の存在にたとえられます。この旅行でいろいろな困難が起こります。でも、いつも乗り越えて、前向きに行動します。この旅行は人間の自由と独立の希望を表します。ウリッセの旅行で漂流者が出てきます。漂流者というのは海で道に迷った人のことです。そして、人生でも人は自分の道に迷うことがあります。例えば、将来のことを決められなかったりします。そのために人間は自信がなくなります。人間は漂流者のように自分の道に迷ってしまいます。

海は社会の変化を完璧に表していると思います。社会のように海はたえず動きます。海の水はいつも違って、いつも同じ海水ではありませんが、人々はその変化に気づきません。人は問題の答えを見つけるために海の音を聞いて、波を見ます。困難な問題は解決されて、将来の道は明るくなります。海で人は迷うかもしれませんが、その反面、自分の道を見つけられます。海は水だけではなく海の底にたくさんの命がありますから、皆さんは海に対して尊敬の気持ちを忘れないでください。我々は海からたくさんのことを学べます。 ●





「壊」

あたりまえを

「アタリマエ」にしない

5M-2 トマス ベーガー

「常識とは、18歳までに身につけた偏見のコレクションのことである。」これは、世界で有名な物理学者のアインシュタインが言った言葉です。突然ですが、みなさんは常識について考えたことがありますか？こういう質問をすると、「そんなことはいちいち考えなくても分かっている」と思われるかもしれませんが。では常識とは何なのでしょう。

例えば、電車の中では静かにするのは常識ですよね。その他にも、上司や先生にあいさつするとか、お年寄りには優しくするなど、たくさんの常識が、私たちの回りにはあります。ここで、もう一度アインシュタインの言葉を思い出してください。みなさん、覚えていますか？最初に出した言葉は日本語の言い回しが難しいので、簡単に直して言うことにします。「常識というものは子供から大人になるまでに身についた、間違った考え方の事だ」と彼は言っているわけです。

なぜ常識が間違った考えなのでしょう。常識は、みんなが社会を作っていく中で大切なルールのようなものではないのでしょうか？

しかし、それは誤りである事に私は気づきました。みなさん、思い出してください。昔は、人間を売ったり、暴力を振るったりすることが「常識」だった時代があるのです。そうです。奴隷貿易です。

昔はそれが普通でした。当たり前だったんです。みんな、その常識を少しも疑わずに受け入れていたということです。

しかし、解放運動などを行って少しずつ改善されていきました。それは、常識について、誰かが疑ったからではないのでしょうか。

みなさん、これはご存知ですか？そうです。ごく普通のフリ

クションボールペンです。しかし、実は全然普通ではありません。今まで私たちは、ボールペンは消しゴムでは消せないものだと思っていましたよね？しかし、このフリクションはその常識を壊しました。

みなさんは友達に連絡をする時に何を使いますか？今ではLINEを使う人が多いと思います。私の日本人の友達の中に、家族が東北に住んでいる人がいます。七年前に起きた大地震、東日本大震災のときに、連絡が取れなくなり、夜も眠れないくらい家族を心配したそうです。その時に開発されたのがLINEです。今まで電話回線ではしか電話ができなかったものをエンジニアが作り変えて、より高度で早く連絡が取れるようにしました。

ここまで、私は常識を疑う話をしました。しかし、すべてを壊せといっているわけではありません。この世界には変えてはならない常識だってあります。例えば、殺人をしてはいけません。人に迷惑をかけてはいけません。これは平和に暮らすために必要な常識です。しかし、壊すことでもっとより良く、世界を変えていける常識もあります。実は、私は人前で話す事が苦手です。ですが今回スピーチコンテストに出たことで、「大勢の前で話すのは怖いことだ。」という自分の中の常識を壊す事ができました。みなさんも、自分の中のあたりまえを壊して、新しい可能性を見つけてみませんか？ ●



「界」

限界を知ること

8M ミン ジョン

皆さん、こんにちは。8Mのミンと申します。今日、私が皆さんに伝えたい言葉は「界」という文字です。皆さんはこの界という文字を見ると、何を思い出しますか？世界や業界など、界という文字を使った語彙は色々あり、一つの名詞の最後に「界」をつけたらその名詞の分野や領域という意味になります。例えば、美術界や政界などがありますね。ただ、今の単語には一つ、共通点があります。それは、界という文字が入っている語彙は全てが限られている領域のことを意味しているということです。「世界という語彙は限られている領域ではないだろう」と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、世界も地球上の全ての国という制限があります。これだけではありません。世の中には物から人の心や能力に至るまで、界があります。いわば、制限や限界が必ずあるということです。その限界に気づいたら、人はがっかりしたり、その境界内のところまでが自分が行ける場所だと勝手に思い込んで、超えないようにしたりします。

でも、ここで一回考え直してみましょう。もしその限界を知らなかったら、自分の努力と時間をもっと費したかもしれないと思いませんか。その限界を知るようになったからこそ、自分が次に進める道をもっと明確に探せるのです。今まで一度も悩んだことがなかった人なら、自分のことをもっと考える時間を持つことができます。

私は幼い頃から、何かに飽きたらすぐやめる、わがままな子でした。自分が好きだと感じて始めたのに、すぐ飽きてやめたり、物だったら捨ててしまったりしたので、両親は私に偉大な人物の伝記や英雄小説を読ませました。それは全部アインシュタインやヘレンケラーなど、最後まで希望を諦めないで、何かを叶えたという成功ストーリーでした。しかし、その話を読んでもなかなか理解ができませんでした。どうしてそこまでしなければならぬのか。そんなに頑張ったのだから、何かを叶えるのは当然だろうと思ったのです。そして、私は飽きたらすぐやめる生活をそのまま続けていきました。何も問題はない。自分はそう思って生きていましたが、時々、心の底から虚無感のような事を感じました。なぜ自分はどんな事にも情熱的になれないのか。もちろん、自分が好きな事については情熱的になれるかもしれないけれども、それは一瞬の感情で、その瞬間が過ぎたらすぐ飽きてしまうのは情熱とは言えないと考えました。そんな自分の事がだんだん嫌になり、自分は何もできない人間だと思うようになりました。

それを隠すため、なるべく努力してそこそこの大学に入学しましたが、自分が何が好きなのか、どんな人なのかについては、大学生になっても分かりませんでした。

ところが、私が祖母のところを訪ねたある日のことです。祖母は絵を描いていました。もう70歳を超えた祖母の手はうまく動かなかったのも、その絵が美しく描けないのは当然でした。そんな私を見た祖母は、私にこのように言いました。「下手な絵でしょう？自分もそう思っている。でも、私はこの絵が好きなよ。今の自分が一生懸命描いたものだから。下手な作品になると知っていたけど、最後まで完成させた自分が好きだから、この下手な絵も愛着を感じるのよ」と言ってくれました。それを聞いた私は、目から鱗が落ちたような気がしました。今の自分の嫌なところを受け入れる事が必要だ、今のままの自分自身を見て、それを受け入れてそこでできる事をするのが大切だ、と思いました。すると、心の底からすっきりしました。

今も私は自分が何が好きなのか、何が上手なのかははっきり答えられません。でも、そんな自分が嫌だとは思いません。むしろ、自分がそんな人だと認めて、その限界を感じてから、色々な事について少しずつ考え始めるようになりました。もし、祖母とのその経験がなかったら、私は今も、何もできない人間だと思って、何もしないようにしているかもしれません。だから、皆さん、自分の限界を感じた時、がっかりする必要はないと思います。その界を越えようとしなくてもいいです。そして、がっかりした時に、そこで終わりだと思わないでください。今の限界をそのまま受け入れてもう一度考えてみると、きっと、自分も知らなかった何かに気がつけるかもしれないのです。ご静聴、ありがとうございました。 ●





「会」

出会いと冒険

4A-1 ミシャ ソリテルマン

こんにちは。私はアメリカから来たミシャです。同級生は親しみやすいと言ってくれますが、それはいつもではありませんでした。ある日、全部変わりました。今日はその日、私の初めての恋人との出会いについて話したいと思います。よろしくをお願いします。

私は大学一年生の時、合コンのようなイベントに友達に連れて行かれてしまいました。その合コンは、今でもよく覚えています。私は神経質なオタクで、コンピューター科学やゲームにしか興味がなくて、女の人と話すのは当然苦手でした。それなのに、この夜に何かすごいことになりました。

この合コンの会場は賑やかで広い居酒屋で、私はお店に入って、すぐ皆から一番遠い奥で陣を張ろうと決めました。誰にも出会わなければ、心配事がないでしょう？そんなことを絶対に考えていない振りをしながら、奥の席に着いたら、同時にもう一人の人に来られてしまいました。

はい。そうです。女の人でした。おまけに、三年生の美人でした。

私は「こっ、こんにちは。」と口籠ってしまいました。永遠の

ように長く感じた一瞬後に、彼女は「こんにちは」と答えてくれました。彼女も合コンに連れて来られたそうでした。一緒に座ってから、私の経験不足を感じたのか、彼女は次の大一步を踏み出しました。「ビール飲もう？」と聞きました。私はすぐ、「ビール大好き、飲もうよ!」と答えました。

それは嘘でした。実は、私はビールが苦手で、味が好きではないので、飲むと顔をゆがめてしまいます。でも、緊張していたので、つい賛成と言ってしまいました。もう逃げられないと気付きました。何とか頑張ろうと思いましたが、嘘つきになってしまったのに。大丈夫です。生き残れる、多分、かもしれません。

意を決して、居酒屋のカウンターへ行きました。「すみません、ビール二杯下さい!」と頼みました。その時が初めてビールを、いいえ、お酒を注文した時でした。でも、言い訳があります。アメリカでは、21歳までお酒は飲むことが出来ません。でも、緊張していたので、私はまだ19歳だと忘れてしまったようです。

その時は、運が良かったです。バーテンに証明書を聞かれなくて、頼んだ二杯を手に入れました。奥に戻りながら、その夜に別人になってしまったと思いました。嘘つきというより、もう犯罪者になっちゃいました。

テーブルに戻って、彼女にビール瓶を渡して、席に座りました。そしてその一瞬に、私に新しい考え方が現れました。もうたくさん失敗をしてしまったのに、まだ生きているでしょう。恥ずかしくて難しいと思っていたことでも、楽しんでいるでしょう。私の人生で初めて、心配の眠りから覚めました。

覚めたばかりなのに、最初の挑戦が早く出てきました。席に座ると、彼女はボトルを見て、「あのねえ。ミシャさん。私のビールはね。まだ閉まっているじゃない?」と聞いてきました。カウンターで急いでいたので、バーテンからビールを早く取りすぎてしまったようです。カウンターに戻って開けようかと思いましたが、私はまだ証明書を聞かれることが怖かったです。代わりに、「そうだね。でも、鍵で簡単に開けられるん



だよ!」と説明しました。

実はそんな開け方を全然知りませんでした。ただ道具が金属で作られたものならボトルが開けられるかもしれないと思いました。本当にピンチでした。でも、この冒険に挑戦しようと思ったので、もう緊張していませんでした。パニックにならないで、アパートの鍵をポケットから出して、ボトルの首をつかんで、鍵をキャップの下に入れて...やった!キャップはきれいにテーブルの上に落ちました。

彼女は私に「本当に簡単だった!ありがとう!」と言ってくれました。開けたビールを渡して、彼女とともに乾杯しました。合コンの残り時間に、私はビールで顔をゆがめないようにしながら、彼女と楽しく雑談をしました。

彼女とは三年間付き合い合いました。残念ですが、彼女が卒業して、遠距離恋愛になって別れてしまいましたが、その出会った夜のことはまだ覚えています。

その夜、分かったことが一つあります。それは、「未成年の飲酒は大丈夫」ということではありません。ただたに新しい経験が出来るように、常識を捨てて自分らしくないことをすることです。つまり「冒険をしなければ、何も手に入らない」ということです。

先月、私は西新宿のカフェでこのスピーチのテーマを考えていました。どうしてスピーチをやりたいでしょう。皆さんの前で話すのは、恥ずかしくないですか。スピーチを書くのは、難しいですか。急に、頭の奥から答えが出てきました。今はもう、その答えの理由が分かりました。

これでスピーチを終わります。聞いてくださって、ありがとうございます。 ●



「回」

回転寿司からの教え

6M-2 アンナ バホス

皆さん、おはようございます。私が選んだ「回」は回転ずしの回です。なぜなら、皆さんがご存知のように寿司は日本の一番いい物だからです。というのは、冗談です。本当の理由は、回転寿司に人生の様々な重要な事を教えてもらえると思うからです。皆さんは今、私のことを「この人は頭がちょっと変だな」と思っているかもしれませんが、ご安心ください。これから私の説明を聞けば、分かっているだけだと思います。では、始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



回転寿司から教えてもらえる事の一つ目は「一番簡単な道が、必ずしも一番良い道だとは限らない」と言うことです。しかし、どうやって回転寿司からそれを教わりますか?例えば、回転寿司ではお客さんの目の前にたくさんの寿司が回っていて、自由に好きな寿司を取ってもかまいませんね。それは、一番簡単な道です。しかし、どのぐらいの時間その寿司が回っているかわからないので、一番いい味なのかもわかりません。ですから、面倒くさくても、また外国人にとっては難しくて寿司職人に注文をしたほうがいいです。そうすれば、一番新鮮な魚が食べられますし、ご飯が温かいうちに食べられます。

私たちの生活でもそのような教えがあります。例えば、カイ日本語スクールで毎学期、テストに出る漢字のリストはとても長いですね。ですから、ときどき漢字の意味を気にしないで、読み方や書き方だけを覚えようとするところがあるかもしれません。しかし、そうすればテストの1週間後、勉強した漢字のほとんどを忘れてしまいます。ですから、もう少し頑張つて、漢字の意味も覚えたほうが良いと思います。このように考えると、どんなことでももう少しがんばれば、もっといい結果が得られることがわかります。

二つ目の教えは「色々な事をするよりも自分の得意なことに集中したほうが良い」と言うことです。実は先日、回転寿司を食べに行った時、メニューを見ると、美味しそうな鶏の唐揚げの写真がありました。私は唐揚げが大好きなので「良かった」と思って、注文して楽しみに待ちました。しかし、その寿司屋さんは、寿司が本当においしかったのに対して、鳥の唐揚げはとてもまずかったです。非常に失望しました。しかし、この失敗は私のせいだったと思います。寿司屋さんの一番得意なものは、もちろん、寿司ですから、鶏の唐揚げを頼むのは間違いです。それと同じように、自分の生活で色々なことを同時にすると、すべてはうまくいかないかもしれません。それに対して、自分の得意なことに集中すれば、それを完璧にできると思います。

最後の教えが一番重要だと思います。「良い結果になるか分からなくてもやってみたほうがいい」と言う教えです。回転寿司には、人気があるまぐろやサーモンの寿司だけではなく、色々な海の幸の寿司があります。私は外国人ですから、自分にとって食べたことがない寿司は美味しくなさそうです。しかし、ある日、日本人の友達と一緒に回転寿司へ行った時、彼女は様々な寿司を取って「一緒に食べよう」と言いました。食べたことがない寿司だったので、私は不安でしたが、食べなければ失礼だと思って、食べることにしました。一つ目はオレンジ色のペーストの巻き寿司でした。変な顔をしないように頑張って口の中に寿司を入れました。そして、びっくりしました。おいしかったのです。彼女は後で「ういの巻き寿司だよ」と教えてくれました。その後、様々な種類をどんどん食べて、たくさんの新しくおいしい味を知りました。それで、結果が分からなくても、やってみた方がいいことを学びました。

実は、私は夫の留学をきっかけに日本へ来ました。日本に来ることは私にとって最も大きくて難しい生活の変化でした。しかし、来て良かったです。日本で色々な国の友達を作ったり、大切な経験をしたりして、様々な重要な事を学びました。

皆さん、これでもまだ私の頭が変だと思っていますか。回転寿司から様々な事を教わりましたね。ですから、このように見てみると、くだらないように思える事にも、人生に関する重要な教えがあることがわかります。皆さん、これからは回転寿司で寿司を見逃さないように気を付けるのと同じように、人生で重要な教えを見逃さないように様々な細かい事にも注意してください。ご清聴、ありがとうございました。 ●



心を開いて、世界を開こう

4A-2 インナ ハジエバ

皆さん、こんにちは。今日は開くと言う漢字の「開」について話します。それは自分の心を開く、そして、世界を開くと言う意味です。

現在、インターネットとテレビのおかげで、私たちの世界は身近になってきています。たった1分で知りたいことを何でも見つけることができます。私たちは子供の頃から、学校で世界の歴史と地理を勉強しています。でも、他の国の知識はまだまだ乏しいと思います。

3年前に私は中国へ留学をしに行きました。中国ではたく



さん外国人に出会いました。例えば、アメリカ人、韓国人、それに北朝鮮人の友達もいました。しかし、残念ながら、基本的に同じ国の人同士が集まっていました。正直、他の国の友達を作ることは難しいことです。一般的に人の性格はあまりオープンじゃありません。私たちは外国人と会話することを怖がっています。ですが、私は、どうすれば、外国人と友達になれるか、考えました。この答えを今日は皆に紹介したいと思います。

例えば、こんなことがありました。私はバンコクへ旅行しに行きました。タイのガイドは、色々な面白い質問をしてくれました。「実は、バンコクの名前はタイ語で168字あり、一番長い名前の町として有名で、ギネスにもあります。もし、タイ語でバンコクの名前を知っている人がいたら、旅行のチケットを無料であげます」とガイドは言いました。もちろん、誰も知らなかったです。家へ帰って、バンコクの名前を調べました。その名前を覚えるために歌も覚えました。こんな感じです。「同じ機会があったら、必ず、チケットを勝ち取る」と思いました。もう10年経ちましたが、まだその機会がありません。でも、無駄じゃなかったです。なぜなら、たくさんのタイ人の友達ができました。タイ語で私が覚えた歌を歌うと、タイ人はとてもびっくりして「すごい、素晴らしい」と言ってくれました。そして、私たちはすぐに友人になりました。

そのような方法で、たくさん外国人の友達を作りました。韓国人と韓国ドラマ、ハンサムなアイドルについて話しました。日本人とは、好きなアニメの話や歌も歌いました。たとえばタッチというアニメの歌です。最後は、日本人の夫もみつけました。新しい友達と一緒に色々な国の料理を食べたり、パーティをしたり、勉強しました。

今の日本の生活も楽しいです。銭湯へ行くと、日本人のおばあさんと話します。

ロシアなら、外国人はマトリョシカ、プーチンとボルシチしか知らないような気がします。ですが、ロシアは面白いところです。世界で一番大きい火山、一番深い湖、一番長い線路があります。チャイコフスキーもガガーリンもロシアで生まれました。テトリス、テレビ、ヘリコプターはロシアで発明されました。もちろん、皆さんも自分の国のことについてたくさん話せると思います。

外国人の友達を作る秘訣は3つです。ほかの国に興味を持って、文化を尊重して、自分もオープンになることです。

皆、それぞれ違いがあり個性があります。それに興味を持ち、理解することが平和の第一歩です。

皆、友達になって、戦争のない、平和な世界を作りましょう！
それでは、私のスピーチを終わります。ありがとうございました。 ●

「会」

素敵な出会いたち

2Mポントス スヴェンソン

私は「出会い」という漢字をえらびました。
なぜなら、日本にきてから私は多くの人やあたらしいものに出会っているからです。そしてその人たちとの出会いは、文字通り人生を変えたからです。

私は、去年の10月に日本にきました。実は、日本に来るまで、わたしは日本語を全然しゃべることができませんでした。多分「こんにちは」や「ありがとう」ぐらいだったと思います。そんな私が日本に来たのは、スウェーデンの田舎の生活が私にとってちょっと退屈すぎたからです。

Kai日本語スクールの授業が始まってすぐに、私はたくさんものや人たちに出会いました。たとえば、お喋りが大好きなスペイン人の女の子達や、日本の文化やアニメを愛するオーストリア人の女の子です。彼女たちは私よりも日本についてたくさん知っていて、今でも彼女たちのことをすごい！と思っています。

しかし、日本での生活や日本語を勉強することは楽しいことだけではありません。例えば、私にとって漢字を勉強することはとても難しいです。日本に来る前は、日本語を全くしゃべることができなかった私にとっては、時々漢字はただの絵にししか見えなかったり、何度書いてもおぼえられなかったり大変でしたが、今では漢字も素敵な出会いの1つです



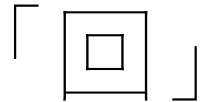
また、私は身長が2メートルのスウェーデン人です。なので、街を歩いていると日本人がびっくりしたり、おおきい！と言ってくることがあります。はじめは、街を歩くことがたいへんとかめんどくさいと思うこともありましたが、今ではすっかり気にならなくなりました。これも、スウェーデンで生活していたら絶対に経験出来なかったことだと思っています。

そして、私が思う日本での1番素敵な出会いは、私の彼氏であるTAKUMIです。私はクラスメートを通じて彼に会いました。その日のことは今でもしっかりと覚えています。彼の話をたくさんしたいのですが、恥ずかしいからここではやめておきます。

私はKai日本語スクール、素敵なクラスメート、そして素敵な彼氏のおかげで楽しい日本での生活を送っています。

もし、誰かが、どうしてポントスはアメリカや中国じゃなくて日本に来たの？と聞いたら私はきっこう答えます。「日本ならきっと私の退屈な生活を変えてくれると思ったからだよ！」 ●





回り道も悪くない

6M-1 ジェシカ リンダー

子供の頃から、いつも「何になりたい?」とか「これからどうするの?」という2つの質問に悩まされてきました。この質問は、私の夢を聞くばかりか、いつその夢を実現できるかということまで聞いていますよね。なので、私はそれを聞かれるたびに「えっ? 20歳とか30歳までにそれしなければならぬ?」というプレッシャーを感じてきたからです。

私はしたいことがあったら、自分のペースでしたいです。なぜなら、私はのんびりした性格なので、すぐに何かをしなければならぬとあまり思わないし、それに、目標や、やりたいことについてゆっくり考えたいと思うので、時間が必要です。本当にしたいことがあったら、ゆっくり考えたり、時間をかけたりしたいので、そうしたら、もっと満足できると考えています。だから、私の人生は非常に回り道をしてしまう生活ですが、私はそれをとても楽しんでます。

10年ほど前、私はアメリカにいました。学校の図書館で日本の歴史の本を見つけて、漢字を初めて見た時、日本語を学びたいと強く思いました。なぜなら、漢字は美しくて、1つずつの字に意味が多いことを知ったからです。しかし、色々な事情で学ぶことができませんでした。例えば、私の行っていた学校に日本語の授業がなかったり、両親にネットで日本語クラスを受けることに反対されたことなどです。その後、ついに17歳の時、私は日本で留学生になるチャンスを得ました。とても嬉しくて、楽しみにしていました。しかし、この時にも日本のホストファミリーに断られてしまうというハプニングがあって、代わりに台湾へ行くことになりました。日本へやっと思行けると思ったのに、びっくりしたことに、急に違う場所へ行くことになりました。もちろん、台湾へ行くこともどうしようか迷いました。その時、私は台湾の位置さえ知らなくて、中国語も話せなかったからです。でも、よく考えた後で、私はこれも何かの縁だと思ってポジティブに考えて台湾へ行くことにしました。

でももし、この時、日本に直接行ったとしたら、台湾について学んでいなかったし、台湾でできた友達と全然会えなかったから、悲しいと思います。だから、直接目的地に行った方が良いこともあると思いますが、この時、私は回り道をして、良かったと思います。

それから、勉強だけではなくて、旅行でも回り道をしました。2年前、友達とヨーロッパでバックパッカーをしていました。その時、私達のゴールはローマでしたが、どうやってロー

マへ行くか分からなかったのも、もちろん準備も全然していませんでした。毎日、思いつくままにその日だけの準備をしておいて、次の日のことは全く気にせず、心配することもなくて、好きなことしかしなかったです。その旅は一番楽しかったです。色々な国を見て、その時まで見たいと思わなかった場所も見ることが出来ました。確かに、直接ローマへ行ったら、早くローマに着いてもっと長い間滞在できたかもしれませんが。しかし、もしそうしていたら、私が他の国でした色々な面白い経験をするのが出来なかったでしょう。

さらに、私は仕事も少し回り道をしています。専攻は化学なのに、今までした仕事の中で、1つ以外は全く化学とは関係ない仕事でした。だから、いつも回り道をしているようにゆっくり時間がかかっています。でも、私の夢の仕事を早く見つけることについて全然心配しません。まず、出来ることがあったら、そのことを最初にします。そして、適当な時が来たら、私の夢の仕事をしようと思っています。しかし、いつも別のことをしてしまうと、ドンドン時間が経ってしまうことがあります。そのうちに、少しずつ、本当の夢を忘れてしまって、もうそのしたいことが出来ないかもしれません。だから、回り道をするなら、夢を忘れないように気をつけてください。

皆さん、もし、回り道をしていなかったら、カイの皆さんに会えなかったことでしょう。私は、クラスメイトの皆さんとこのようすばらしい経験をするのが出来て良かったです。また、そのために、頑張りました。時々、苦しくて、悩むこともあったのですが、それも今思えばいい思い出です。一緒に笑ったり、遊んだりしたこともいい思い出です。だから、回り道をするのを恐れないで、できることがあったら、してみてください。何か面白くて意外なことが起こるかもしれません。

聞いてくださってありがとうございました。 ●



「偕」

ハリネズミのジレンマ

5M-1 ミカエル カルフネン

私は「みんな一緒」、「偕」の漢字を選びました。

はじめに、一つの質問があります。自分の本当の心を見せるのは大切なことでしょうか。ときどき、私は人々の中でさびしさを感じます。そして、実は友達といえ、さびしさを感じることがあるんです。だれが私の本当の気持ちを聞いてくれるのか? だれが私に本当の気持ちを見せてくれるのか? そして、私はどうやって他の人の心に触れられるのか?

これはハリネズミのジレンマです。となりの友達ともっと親しくなりたいけど、相手を自分の背中のハリで刺してしまうかもしれません。仲良くなりたいのに、仲良くなる道具がなくて、一人で解決できません。そんなハリネズミのような気持ちを、私は子供の頃から持っていました。

子供のとき、私は学校で同級生にいじめられました。そして、家で家族はあまり私のために時間がありませんでした。私はどこでもさびしかったです。だれにも見えてもらえなかったです。子供の私の一つのお願いは愛してもらうことでした。だれかに私を見てもらって、わかってもらうことでした。子供の私は、みんなのように誰かに愛されて、みんなのようにわかり合って、一緒になったかったんです。だけど私は、ハリネズミのように仲良くなる道具がありませんでした。

だから、私はこのハリネズミのジレンマから抜け出したかったです。そして、解決を探すうちに、一つのスウェーデンの格言に出会いました。「本当の強さは、弱さを見せることだ」という格言です。私はよくこの格言について考えました。それは、矛盾だらけの言葉で、長い間わかりませんでした。し

かし、大人になるにしたがって、だんだんわかってきました。強さは強さじゃなくて、弱さは弱さじゃないんです。この格言の強さには「勇気」の意味があって、弱さには「本当の心」の意味があります。つまり、自分の本当の心を見せるために、勇気が必要だという意味になります。

どうして自分の本当の心を見せるのは大切なのでしょう。か。いじめられていた私、家族に見てもらえなかった私にとって、胸の中にあった「愛して欲しい」「さびしい」という気持ちは、まるでブラックホールのようなものでした。自分でそのブラックホールを直すことができませんでした。そんな中で、19歳のとき、私はエリックという人に出会いました。彼は私に自分の本当の心を言葉で伝えることを教えてくれました。彼は私の話を聞いてくれて、私を理解してくれました。私の胸にあるブラックホールはだんだん小さくなっていきました。エリックに心を見せるとき、とても怖かったです。ハリネズミのようにボールになりたかったです。しかし、エリックから仲良くなる道具をもらいました。本物の絆をつくるために、私の本当の心を見せることが必要でした。

そして、他にも大切なことがわかってきたんです。私の本当の気持ちを話したら、他の人の心も見えてくるようになりました。私だけではなく、みんなも時々、ハリネズミのジレンマのような重い気持ちを持っているんです。この世界で私一人だけが重い気持ちを持っているわけではありません。私もみんなも色々重い気持ちを持っているんです。私一人ではないんです。みんなはいっしょなんです。

はじめの質問に戻って、自分の本当の心を見せるのは大切なことでしょうか。 はい、大切なことです。ハリネズミのジレンマを解決するために必要です。たしかに、私は今でもときどき、さびしくなるときがあります。 たしかに、私は今でもときどき、ハリネズミのような気持ちになることがあります。しかし、大人になった私は、自分の本当の心を見せれば、本物の絆が得られることを知っています。私は一人ではないんです。みんなはいっしょなんです。

もしも、みなさんの中にハリネズミの気持ちを持っている人がいるとしたら...

あなたは一人ではないんです。みんな同じなんです。みんなはこの世界でいっしょにいます。

ありがとうございました。 ●





「階」

人生の段階

3A-2 マティアス アコスタ

「階」はステップという意味です。人生にはステップがたくさんあります。そのステップの名前は「人生の段階」と言います。

日本でも、アルゼンチンでもスペインでも皆さん同じで、子供は夢がたくさんあります。その夢は時々じつげんさせにくいです。でも、子供はそんなことを気にしません。全てが出来ると思っています。

十代の時、その夢はだんだんじつげんさせにくくなって来ます。この段階は一番むずかしいかもしれません。げんじつを見て、不安になって来るからです。

大人は夢をじつげんさせることが出来ます。それでも、たくさんの大人が夢を忘れてしまいます。きらいな仕事をしている人が多くいて、お金しか見えません。もちろん、お金は大切ですが、夢はお金より大事だと思います。

お年よりはたいてい、しなかったことをこうかいしていると聞きました。

私の夢は日本に住むことでした。

日本との出会いは7歳の時でした。私はドラゴンボールが大好きだったから、毎日見ていました。母がゆるしてくれれば1日2回見ていました。でも、私はドラゴンボールが日本から来たことを知りませんでした。そのあとで、私は日本と関係がありませんでした。

私は十代の時、他のことにきょうみがありました。そして、二十歳になる前に、さっきょくを勉強し始めました。さっきょくの先生は日本が大好きだったので、日本をしょうかいしてくれました。その日は家へかえてから、インターネットで日

本のことを調べました。一目ぼれでした。調べれば調べるほど、日本がもっと好きになりました。そして、日本へ来ることが私の夢になりました。今、日本に住んでいるので、毎日が夢のようです。

まだ、ほかにも夢がありますが、今は言いません。でも、その夢をじつげんさせるためにがんばっています。お年よりの段階で、こうかいしたくないからです。

私のメッセージはかんたんですが、大切だと思います。皆さん、子供の時のたくさんの夢を忘れないで、夢をじつげんさせてください。

ありがとうございました。 ●

「改」

目標までに近道はない

7M-1 アルビン ベンヤミンソン

皆さん、はじめまして、私はアルビンと申します。どうぞよろしく願いいたします。 私の選んだ漢字はこちらです。改善の「改」です。改善の意味は二つあります。一つ目は「前に比べると、もっといい」という意味です。二つ目は日本のビジネス世界の哲学「いつも進んで、いつももっと良くなる」という意味です。しかし、このスピーチの対象はビジネスではなくて、自分の改善のこです。人生において、いつも自分を改善すれば、今日の「私」は、昨日の「私」より、もう少し良くなっています。

では、どのような点を改善すればいいのでしょうか。人間



はいろいろな立場や視点から物事を見たり考えたりできる動物なので、いろいろなことが改善できると思います。私には、多くの改善したい欠点があります。特に、他の人を理解する能力です。人として、重要な能力だと思います。どうして他の人はそのような考え方や意見を持っているかについての理解です。それができれば、人を型にはめて理解することから変われると考えています。残念ながら、昔の私はよく人を型にはめて見ていました。「彼はそれをやっているから、このような人だ」や「彼女はそこに住んでいるから、彼女の考え方はこれだ」という間違っった考え方をしていました。しかし、私はそのような自分を好まなかったので、自分自身を改善することに決めました。

大学に入って、いろいろな人と会いました。大学での経験も有効でしたが、本当の変化は日本に住むようになってからだと思います。いろいろな国籍の人と会いました。彼らは、私の立場や考え方に挑んできました。世界中には、私の考え方だけではなく、ものすごい多くの立場や考え方があります。例えば、ある日の飲み会で、私は日本人の女性に会って、会話をしました。その会話の中で彼女は、「女性の夢や将来像」に関する私の先入観に挑んできました。スウェーデンでは、多くの女性は仕事でキャリアを築き、出世することを望んでいます。しかし、この日本女性の夢は、主婦になることでした。さらに、日本ではこの夢は珍しいことではなく、普通のようなです。多くのスウェーデン人にとって、主婦になりたいという夢は、自分の野望を捨てて、自分の可能性を実現しないことです。しかしながら、日本人の彼女にとって、家事や育児は本当の幸せなのです。彼女と話し合った末に、私は彼女の立場や希望する将来像が分かりました。そして、私の考え方を見直し、他人を理解する能力を少し改善できました。

現在、私はまだ完璧ではありませんが、前の私より成長したと感じています。このダメな私でも狭い考え方を広くできたので、皆さんならきっと、自分を改善できるに違いありません。自分にはできないと思っていても、ある一つのことは改善できます。確かに、何を改善するとしても、自分の目標を達成するまでには努力や忍耐が必要だと思います。そのために、私がこのスピーチで学生の皆さんに伝えたいメッセージはこれ、「目標までに近道はない」です。しかし、毎日頑張れば、いつか自分の目標が達成できます。毎日自分を改善すれば、ある日気づけば、成果が出ています。

私のスピーチを聞いてくださって、ありがとうございました。 ●



「改」

改善

2A-2 ワーナー タラードス

私がえらんだ漢字は改善の改です。改のいしきは大切だと思います。アメリカで私はへいぼんな日常をすごしていました。いい仕事をしていましたがそれは私が本当にやりたいいことではありませんでした。私のゆめは日本に住み、英語を教えることです。

24才から私はけん玉をしています。けん玉で改善の哲学を初めて体験しました。改善の意味は毎日何でもだんだん進んで、上手になることです。その哲学は自分だけでなく人間すべてにとって大切だと思います。そして、私は毎日人生を進んでいます。あっ、けん玉も進んでいますよ。

去年の6月、私は日本で日本語の勉強がしたかったです。そして、2018年1月にカイ日本語スクールで勉強をする予定でした。私はこうふんしていました。しかし、4ヶ月の後で私と家族のさいあくのじたいが起きました。カリフォルニアで山火事が起きました。私たちの大切なばしょと大切な家族の一員をうしないました。その後で私は何もしたくなくなりました。日本へ行かないことも考えました。でも、私はあきらめたくありませんでした。私はあきらめることができませんでした。

私の家族のはげましで私はまた日本に来ることに決めました。私は毎日自分を改善しています。みなさんも改善をやめないで下さい。 ●



「魁」

さがけになりましょう

2A-1 エリサ メロ

私が選んだ漢字は魁です。これは最初に何かをやる人という意味です。

むかしむかし、空を飛びたい男の子がいました。でも人間は飛べませんから、だれも彼を信じませんでした。ある日、その男の子が大人になったとき、彼は最初の飛行機を発明して、飛べるようになりました。飛べる人の魁になりました。

「子供の時、スーパーヒーローになりたかったけど、スーパーヒーローは本当はいない。」「日本の会社で働きたいけど、今までその会社で外国人が働いたことがないから、むりです。」「スピーチコンテストに出たいけど、私のレベルはとても低いから勝てません。」「だから、あきらまたほうがいいです。」

皆さんもこんな風に考えたことがありますよね。だれもやっていないことの魁になるのは難しくて、それを恐れるのは当たり前です。でも、人間がやることはすべて、だれか一人がそれを最初にやりました。魁になってやりました。世界中の歴史にはそんな人がたくさんいます。月に着いた人の魁、エベレストに登った魁もいます。その魁の名前はずっとのこります。

でも、頑張った人がたくさんいますが、負けた人も多です。その人たちの名前は歴史の本にありません。そして、だれもその人たちについて話しません。では、彼らはどうしてそんなに頑張ったと思いますか。それはそこにチャンスがあったからです。確かに、だれもやっていないことをする時、おそらく成功するチャンスは少ないです。でも、目標がある時は、チャレンジしないで諦めるほうが悪いです。チャンスが少なく



ても、チャンスがぜんぜんないより良いですから、ね。そして、やりたいことにチャレンジしないと、時がたつにつれて、後悔の気持ちはだんだん心の中で大きくなって行きます。

私もゆめがあります。それは漫画家になることです。日本では、みんなまんがとアニメをみたことがあるから、まんがは少しずつ日本の文化になっていきました。だか、日本には漫画家になりたい人も多です。でも、ブラジルには、まんがが好きな人は日本より少ないし、日本語が話せないし、日本から世界の反対側にいますから、こんなゆめのむずかしさはブラジル人たちに非常に大変です。もうブラジル人の漫画家がいるかどうかわかりませんが、もしないなら、私はブラジル人の漫画家の魁になりたいです。それは難しい目標だから、私も時々こわくなります。でも、私は生涯をかけて、何回でもチャレンジをすることができます。皆さんも同じです。まだチャレンジをする時間をもっていますよね

だから、みなさん、心の中にしたいことがあったら、だれもそんなことをやっていなくても、恐れないでください。頭と力をいっぱい使ったら、多分あなたも魁になれます。やってみましょう。そして、魁になりましょう。 ●



パフォーマンス

カリッド・アラシッド

歌とギター演奏

講師 諸岡正治

トランペット演奏



表彰式と懇親会



あとがき

33回目となった2018年のスピーチコンテスト大会の開催は、5月の下旬、オリンピックセンターで行いました。

例年通り、スピーチのお題は「カイ」。各クラスから選抜された20名(12カ国)が出場しました。今年の学生たちが選んだカイは、＜界・壊・海・介・邂・怪・回・海・会・開・楷・階・魁＞の13文字。例年あまり選ばれない「楷」や「魁」など、日本人にも馴染みの少ない漢字も含め、いつも以上に多様な「カイ」に彼らのメッセージが込められました。

その中で一位に輝いたのは、アメリカのミシャ・ソリテルマンさん(中級1レベル)の「会～出会いと冒険」です。神経質なオタクの自分が変わったきっかけとなった合コンでの出会いの数時間の出来事をスピーチにまとめました。戸惑いや緊張、葛藤、決断などの心の動きをユーモアを交え見事に描き、会場の私たちを引き込みました。何より、中級になったばかりというレベルを感じさせない、軽妙で自然な語り口は、従来のスピーチ像とは違う新鮮な驚きと感動を与えてくれました。

2位は、ミン・シヨンさん(韓国)の「界～限界を知ること」です。手の不自由な祖母の言葉をきっかけに、自分の感じていた限界を受容し見直すことで違う視野が広がると気づくまでを、上級らしい表現力で語りました。ありがちな「限界を乗り越えよう!」ではなく、あくまでそこに気づいて見つめ直すことを提案した彼女のスピーチは、多くの人の心に響くメッセージとなりました。

3位は、「階～ハリネズミのジレンマ」ミカエル・カルフネンさんに贈られました。友達になりたいのに背中に針があって近づけない、そんなジレンマを持つハリネズミに過去の自分を重ね合わせ、ジレンマの苦しみから抜け出すことができた友達との出会いを経て、人はひとりではない、と力強く会場に語りかけた彼のスピーチは本当に感動的でした。

また、インナさん(ロシア)の色々な国での体験をもとに文化理解と心を開くことが平和に繋がると訴えた「開く～心を開いて、世界を開こう」、アンナさん(ブラジル)の回転寿司に人生の様々な教訓を見出した「回～回転寿司からの教え」、エリサさん(ブラジル)のブラジルで漫画家のさきがけになりたいという夢を語った「魁～さきがけになりましょう」にも各審査員の高い評価が集まり、特別審査員賞が贈られました。また、トップバッターでありながら、落ち着いてしっかりした日本語でスピーチを行った紀華茵さん(台湾)「界～違う考え方を発見しましょう」には、初級賞が贈られました。

出場者すべての学生が、スピーチを前に自分自身につながる様々な考察を深め、感じたことや決意を日本語でシェアしてくれたことに、私も含む教職員一同、改めて様々な気づきや学びを得た思いです。

最後に、お忙しい中、本年の審査を快くお引き受け下った日本漢字検定協会の高木純夫様、株式会社ヌールエ(世界動物環境会議)の筒井一郎様、株式会社ASIA Linkの小野朋恵様に、心より感謝申し上げますとともに、引き続き日本語を学ぶ人たちへの温かいご支援をお願いする次第です。

2018年6月15日
カイ日本語スクール
代表 山本弘子

今年、20人の出場者。12の国。13のカイ。
界・壊・海・介・邂・怪・回・海・会・開・楷・階・魁